

住吉小学校のPTAって なんのためにあるの？ 活動に参加する意味って？



学校を思う気持ちはあるけれど、PTAって全員何かしなきゃいけないの？
仕事があるから活動はムリ！など、PTA活動をすこし憂鬱に捉える気持ち、
私たちも共感します。

私たちもPTA役員になるまで、どんなことをしているのか、正確にわかりませんでした。
今後は時代に沿った進化も必要だと感じています。皆様のご意見が
PTA活動を変えるきっかけにもなります。ご意見があればぜひ教えてください！

保護者の皆さんにPTAの活動内容についてお伝えしたいと思いまとめてみました。

PTAはこんな活動をしています

資源回収の推進 (環境委員の活動)

資源回収のルールが守られているか、
見回りや、看板のメンテナンスをしています。
住吉小学校では町内会の協力もあり、多くの
奨励金（年間数十万円）が交付され、
貴重な活動財源となっています。

（例）夏場に屋外通路に設置するミストシャワー、
体育館で使うシートの巻き取り機など。
※シートの巻き取り機は選挙の投票がある時は
地域の方にも使っていただいています。

通学路の安全確認 (校外委員の活動)

登下校時の通学ルート上の危険な箇所の認識、
もしもの時につけ込める場所のステッカー設置の
お願いなど、子どもたちが安心して過ごせるような
活動をしています。

「こども110番」のステッカーを貼った場所は、
子どもたちが不安を感じたときにつけ込めば、保護し、
関係先に連絡をして頂ける協力施設です。
ご家庭でも子どもと話してみてください！

親睦会の企画 (校内委員の活動)

保護者同士の親睦会のため、親睦会費として
PTA会費から支出しています。

「子どもの学校での様子がわかった」
「自分の子どもの仲良くしているお友達の親に
挨拶ができ、顔見知りになれ安心した」
などの声をいただいています。

ベルマーク活動と備品交換

令和4年度にはポイント約15万円分を、運動会などで
使うテントに交換しました。ベルマーク現物の回収は
やめて、WEBマークに変更しましたので、ポイントの
還元率が上がり、仕分け作業はなくなりました。

WEBベルマークは、協力したい方がネット通販や
旅行サイトなどのサービスを購入する前にWEBベル
マークのサイトに立ち寄って「住吉小学校」を選択
すると住吉小学校のベルマークポイントがたまる
便利なシステムです。お気軽に利用してみませんか？



← WEBベルマークの登録はこちら
住吉小学校を応援したい方なら、PTA会員で
なくても登録できます。
ご家族だけでなく、地域の方やOBOGなどの
協力も歓迎しています。

他の活動や会費の使い道として・・・

子どもの安全や PTA活動の負荷軽減のために

先生方の顔写真の載った広報誌「ひろば」の制作費、運動会での警備員の委託費、子どもたちの支援員の補助、保護者証の制作等に会費を活用しています。

また、全世帯への書類配付のための印刷作業は委員の活動のひとつですが、委員会内部での資料共有は紙の印刷はせず、モニターで共有し情報のやり取りには「LINEWORKS」を使って委員の負荷軽減や効率化を図っています。

子どもたちの学校生活をより 豊かにする取り組み

先生方にも相談し「重要書類袋」を封筒から赤いケースに変更し、6年間使う重要書類袋を、丈夫でランドセルの中でも目立つものにしました。

子どもたちの学校生活がより豊かなものになるよう、運営委員会の中で検討しています。他に体育館のワックスがけ、卒業生への記念品等に会費を活用しています。

地域の方々との連携の取り組み

子どもたちは授業の中で、商店街や地域の方々との触れ合いをもっています。町内会のお祭りではPTAで見守りなども行っています。こういった活動に参加することは、地域とのつながり強化や、地域貢献活動になります。

子どもたちのためにある「PTA」 もしなくなったら・・・

保護者の意見はどう伝える？

保護者の団体がないと、意見が「個人の発言」になってしまう可能性があります。1人よりも大勢の意見の方が、学校に声が届きやすいかもしれません。

学校やお友達のことをどう知る？

保護者のつながりが弱くなり、学校との関わりも減っていく。PTA関連で保護者が学校に行く機会や、PTA広報で知る機会が減ると、学校の雰囲気を知ることが難しくなってくるかも・・・。

地域環境やつながりはどう保つ？

町内会（地域）とのつながりが弱くなり、子どもを見守る数が減るかもしれません。地域の資源回収ポイントが減ると、家庭のゴミ出しの負担増や、街の衛生環境にも影響するかも・・・。

そして先生の負担も増えるかもしれませんね。

子どもたちと共に歩もう

あくまでPTAは、子どもたちの健全な成長を図ることを目的とした任意の団体です。PTAに加入することは、必ず役員や委員を引き受けることではありません。家庭事情や、仕事もありながら、夫婦で役員や委員を分担し引き受けてくださるケースもあります。子どもたちの成長にかかわる事項であると関心をもっていただき、できることを、できる範囲で協力・分担し、無理のないかたちでご参加、ご協力をしていただけましたら幸いです。